

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 1 項 農業費
 6 目 農作物対策費

生産振興課（内線：7414）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
柿梨等霜被害総合対策事業	53,500	△27,300	26,200				△27,300	
トータルコスト	55,084	△27,300	27,784	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.2人	0.0人	0.2人	—				
工程表の政策内容	—							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

4月初旬の降霜により、柿、梨等に被害が発生した。

生産者が安心して継続的に生産活動ができるよう、来年以降の被害防止対策を進めるため、防霜ファン、散水装置などの施設整備や新たな霜害防止資材の実用化調査等、総合的な防霜対策を行うことにより、気象災害に強い産地づくりを行う。

2 主な事業内容

当初予定事業の中止や入札残等に伴う減額補正である。

大雨被害施設園芸パイプハウス等復旧対策事業	41,000	△37,399	3,601				△37,399	
トータルコスト	41,792	△37,399	4,393	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.1人	0.0人	0.1人	—				
工程表の政策内容	—							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

令和3年7月豪雨による農業被害が発生したことから、生産者が安心して継続的に生産活動ができるよう、ため池決壊による流水等で損壊したハウス及び土砂崩れ等で果樹棚や樹体が損傷した果樹園への復旧対策支援を行う。

2 主な事業内容

当初予定事業の中止等による減額補正である。

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費

1 項 農業費

7 目 肥料植物防疫費

生産振興課（内線：7415）

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
植物防疫総合対策事業	15,735	△7,390	8,345	△7,390				
トータルコスト	50,817	△7,390	43,427	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	5.2人	0.0人	5.2人					
工程表の政策内容	—							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

精度の高い病害虫発生予察調査の実施や情報提供を行うことにより、生産者への適切な防除対策を周知・徹底する。

また、近年、県中部でスクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の発生量が増加し、稲作への被害が急激に拡大しているため、緊急的な防除対策の実証等を支援する。

2 主な事業内容

スクミリンゴガイ（ジャンボタニシ）の実証経費の減少に伴う減額補正である。

令和3年度一般会計補正予算説明資料

1 1 款 災害復旧費

2 項 土木施設災害復旧費

生産振興課（内線：7281）

1 目 建設災害復旧費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
とっとり花回廊施設災害復旧事業	23,500	△2,575	20,925		〈△1,530〉 △3,000		425	県費負担 △1,105
トータルコスト	25,876	△2,575	23,301	（補正に係る主な業務）				
従事する職員数	0.3人	0.0人	0.3人	—				
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 令和3年7月豪雨による園内道路の路肩崩壊（一箇所）を復旧する。</p> <p>2 主な事業内容 入札残による減額である。</p>								

（注）起債欄の上段〈 〉書きは交付税措置を除いた額である。

備考欄の県費負担は起債欄の〈 〉書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費

1 項 農業費

9 目 農業試験場費

農業試験場（電話：0857-53-0721）

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
農業試験場管理運営費	49,281	0	49,281		<△19,000> △19,000		19,000	県費負担 0
トータルコスト	90,019	0	90,019	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	5.4人	0.0人	5.4人	—				
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要								
農業試験場の管理運営に要する経費である。								
2 主な事業内容								
起債充当の取りやめに伴う財源更正である。								

(注) 起債欄の< >書きは交付税措置額を除いた額である。
 県費負担額は、起債欄の< >書きの金額に一般財源の金額を加算した額である。

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費

1 項 農業費

10 目 園芸試験場費

園芸試験場（電話：0858-37-4211）

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
園芸試験場管理運営費	54,518	0	54,518		<△13,000> △13,000		13,000	県費負担 0
トータルコスト	96,163	0	96,163	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	5.9人	0.0人	5.9人					
工程表の政策内容	—							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

園芸試験場の管理運営に要する経費である。

2 主な事業内容

起債充当の取りやめに伴う財源更正である。

（注）起債欄の< >書きは交付税措置額を除いた額である。
 県費負担額は、起債欄の< >書きの金額に一般財源の金額を加算した額である。

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 3 項 農地費
 1 目 農地総務費

農地・水保全課（内線：7322）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
国土調査事業	754,293	△183,374	570,919	△122,249			△61,125	
トータルコスト	767,364	△183,374	583,990	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	2.1人	0.0人	2.1人	—				
工程表の政策内容	地籍調査への支援 地籍調査進捗率 令和11年度末48.1%							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

災害への迅速な対応や公共事業の効率的な実施などのため、国土調査法に基づき一筆地ごとの土地の所有者、地番、地目及び境界に関する確認調査を実施し、地籍図・地籍簿として取りまとめる地籍調査事業を行う市町に対して補助する。

2 主な事業内容

国認証減に伴う減額補正を行う。

（単位：千円）

事業内訳	補正前	補正	計	補正財源内訳	
				国庫	一般財源
地籍調査費負担金	753,478	△183,374	570,104	△122,249	△61,125
指導事務費	800	0	800	0	0
全国国土調査協会負担金	15	0	15	0	0
合計	754,293	△183,374	570,919	△122,249	△61,125

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 3 項 農地費
 1 目 農地総務費

農地・水保全課（内線：7336）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
多面的機能支払交付金事業	854,553	△68,632	785,921	△46,406			△22,226	
トータルコスト	887,312	△68,632	818,680	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	4.2人	0.0人	4.2人					—
工程表の政策内容	農地・水・農村環境を保全する活動を支援							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

農業・農村が有する国土保全や水源かん養、景観形成等といった多面的機能の維持・発揮のための地域活動に対して支援する。

2 主な事業内容

国認証減等に伴う減額補正を行う。

（単位：千円）

事業区分	補正前	補正	計	補正財源内訳	
				国庫	一般財源
(1) 農地維持支払 (2) 資源向上支払	829,907	△66,631	763,276	△44,445	△22,186
(3) 推進交付金	24,606	△1,961	22,645	△1,961	0
市町村等	24,306	△1,961	22,345	△1,961	0
県	300	0	300	—	—
(4) 広域化支援	40	△40	0	0	△40
合計	854,553	△68,632	785,921	△46,406	△22,226

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 3 項 農地費
 1 目 農地総務費

農地・水保全課（内線：7336）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
農地を守る直接支払事業	844,354	△8,509	835,845	△6,114			△2,395	
トータルコスト	864,440	△8,509	855,931	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	2.6人	0.0人	2.6人	—				
工程表の政策内容	—							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

平地と比べ農業の生産条件が不利な中山間地域等において、農業生産条件の不利を補正するため、協定に基づいて農業生産活動を行う農業者等に対し、耕作面積に応じて助成する。

2 主な事業内容

市町からの申請減（当初計画に対する申請面積減によるもの）に伴う減額補正を行う。

（単位：千円）

事業区分	補正前	補正	計	補正財源内訳	
				国庫	一般財源
直接支払交付金	832,720	△4,947	827,773	△2,552	△2,395
直接支払推進交付金	11,634	△3,562	8,072	△3,562	0
合計	844,354	△8,509	835,845	△6,114	△2,395

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 3 項 農地費
 1 目 農地総務費

農地・水保全課（内線：7336）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
環境保全型農業直接支払対策事業	25,526	△1,115	24,411	△702			△413	
トータルコスト	35,031	△1,115	33,916	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	1.2人	0.0人	1.2人	—				
工程表の政策内容	—							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

地球温暖化防止や生物多様性保全に効果が高い営農活動を行う農業者等に対して支援を行い、農業分野における環境保全機能の発揮に資する。

2 主な事業内容

市町からの申請減等（当初計画に対する申請面積減等によるもの）に伴う減額補正を行う。

（単位：千円）

事業区分	補正前	補正	計	補正財源内訳	
				国庫	一般財源
直接支払交付金	24,668	△1,319	23,349	△906	△413
直接支払推進交付金	858	204	1,062	204	0
合計	25,526	△1,115	24,411	△702	△413

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 3 項 農地費
 1 目 農地総務費

農地・水保全課（内線：7326）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
しっかり守る農林基盤交付金	364,000	△21,000	343,000				△21,000	
トータルコスト	382,218	△21,000	361,218	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	2.3人	0.0人	2.3人	—				
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的、概要</p> <p>農地、水路、農林道など農林業生産基盤の小規模な整備・補修等に要する経費を市町村に交付する。 また、近年多発する豪雨災害等に迅速に対応するため、農地・農業用施設の小規模な災害復旧に要する経費を市町村に交付する。</p> <p>2 主な事業内容</p> <p>事業実施内容の精査により国庫補助事業の活用が可能となったため、本事業での実施をとりやめたことによる減額補正を行う。</p>								

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 3 項 農地費
 1 目 農地総務費

農地・水保全課（内線：7326）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
次世代型農業 インフラメン テナンス推進 事業	10,000	△7,000	3,000			<基金繰入金> △7,000		
トータルコスト	11,584	△7,000	4,584	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.2人	0.0人	0.2人	—				
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明								
1 事業の目的、概要								
<p>農業水利施設の維持管理を担っている土地改良区等職員の減少や高齢化等を踏まえ、更なる農業水利施設の維持管理の省力化・効率化のための機能診断・保全技術、状態監視技術等の高度化が重要となっている。</p> <p>脆弱化する農業インフラの保全管理を持続可能なものとするため、施設の日常管理へのドローン等新技術の活用や取得したデータの地理情報システム（GIS）への蓄積・共有・利用（GISの高度利用）による施設管理の省力化・高度化を図る取組を推進する。</p>								
2 主な事業内容								
本年度実施内容の見直しに伴う減額補正を行う。								

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 3 項 農地費
 2 目 土地改良費

農地・水保全課（内線：7321）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
譲与促進費 (農道)	6,632	△1,500	5,132				△1,500	
トータルコスト	10,593	△1,500	9,093	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.5人	0.0人	0.5人	—				
工程表の政策内容	—							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

農道の譲与の障害となっている未登録等の問題を解消し、市町村による自主的な管理が行われるように県から市町村への譲与を促進する。

2 主な事業内容

登記の障害となっている原因調査や関係書類の収集、権利者との協議等に時間を要し、測量図作成（委託料）までに至らなかったことによる減額補正を行う。

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費

3 項 農 地 費

農地・水保全課（内線：7326）

2 目 土地改良費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備 考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
(公共事業) 農業農村整備事業	1,373,476	△19,096	1,354,380	3,136	<7,500> 10,000	(負担金等) △323	△31,909	県費負担 △24,409
トータルコスト	1,375,852	△18,304	1,357,548	(補正に係る主な業務内容) 事業に係る審査、実施内容の審査、県営工事の執行、補助金事務、国との調整				
従事する職員数	15.1人	0.1人	15.2人					
工程表の政策内容	畑地かんがい施設整備の支援							
事業内容の説明				【財源内訳「その他」の内訳】 分担金及び負担金：△62、雑入：△261				
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>農業の競争力強化のための農地の区画拡大や汎用化、国土強靱化のための農業水利施設の長寿命化対策等を実施する。</p> <p>2 主な事業概要</p>								
（単位：千円）								
事業名		補正前	補正	計	補正理由			
補助事業	県営	農地集積加速化農地整備事業				事業費確定に伴う減額		
		小計	477,120	△609	476,511			
		小計	477,120	△609	476,511			
	団体営	農業体質強化基盤整備促進支援事業	213,130	△1,912	211,218	事業費確定に伴う減額		
		団体営水利施設等保全高度化事業	135,400	2,594	137,994	施行箇所追加に伴う増額		
		小計	348,530	682	349,212			
	補助事業 計		825,650	73	825,723			
	補助事務費		40,110	7,358	47,468			
	人件費継足		190,286	△26,527	163,759			
	補正に係るもの 計		1,056,046	△19,096	1,036,950			
(着工地区の概要：別紙のとおり)								

(注) 起債欄の上段<>書きは交付税措置を除いた額である。

備考欄の県費負担は起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費

3 項 農 地 費

農地・水保全課（内線：7323）

4 目 農地防災事業費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備 考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
ため池安全総合対策強化事業	76,000	△44,300	31,700	△13,800	<△8,700 > △29,000		△1,500	県費負担 △10,200
トータルコスト	120,358	△44,300	76,058	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	5.6人	0.0人	5.6人	—				

工程表の政策内容

—

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

近年の豪雨、台風によるため池に係る災害の増加に対し、地域住民の安全・安心を確保するため、各種事業を実施し、被害を未然に防止するよう対策を講じる。

2 主な事業内容

事業費確定に伴う減額補正である。

（単位：千円）

区分	補正前	補正	計	補正理由
(1)ため池防災減災対策推進事業	38,000	△15,800	22,200	
ため池ハザードマップ作成	16,000	△4,800	11,200	事業費確定に伴う減額
旧農業用ため池廃止	20,000	△9,000	11,000	事業費確定に伴う減額
ため池付帯施設整備	1,000	△1,000	0	事業費確定に伴う減額
ため池浚渫	1,000	△1,000	0	事業費確定に伴う減額
(2)流木対策緊急整備事業（ため池）	35,000	△28,500	6,500	
流木対策緊急整備事業	35,000	△28,500	6,500	事業費確定に伴う減額
補正に係るもの 計	73,000	△44,300	28,700	

(注) 起債欄の上段<>書きは交付税措置を除いた額である。

備考欄の県費負担は起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費

3 項 農 地 費

農地・水保全課（内線：7323）

4 目 農地防災事業費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備 考	
				国庫支出金	起債	その他	一般財源		
(公共事業) 農地防災事業	1,434,095	△27,803	1,406,292	△275	<△ 7,000> △13,000	(負担金等) △13,045	△1,483	県費負担 △8,483	
トータルコスト	1,625,097	792	1,625,889	(補正に係る主な業務内容)					
従事する職員数	27.9人	0.1人	28.0人	事業に係る審査、実施内容の審査、県営工事の執行、補助金事務、国との調整					
工程表の政策内容	ため池の防災機能の向上支援								
事業内容の説明				【財源内訳「その他」の内訳】 分担金及び負担金：△13,045					
1 事業の目的・概要									
農村地域の防災力の向上を図るため、ため池や頭首工などの土地改良施設の防災・減災対策を実施する。									
2 主な事業概要									
（単位：千円）									
	事業名	補正前	補正	計	補正理由				
補助事業	県営	県営地域ため池総合整備事業	439,100	△34,500	404,600	事業費確定に伴う減額			
		県営特定農業用管水路等特別対策事業	210,000	△25,000	185,000	事業費確定に伴う減額			
		県営農業用河川工作物応急対策事業	261,000	△50,000	211,000	事業費確定に伴う減額			
		県営農地防災事業調査	14,000	59,950	73,950	本年発生豪雨を踏まえ、ため池耐震性評価等の追加実施に伴う増額			
	小計	924,100	△49,550	874,550					
	補助事業 計	924,100	△49,550	874,550					
単独事業	流木対策緊急整備事業（ため池）	(35,000)	(△28,500)	(6,500)	【再掲】				
	単独事業 計	(35,000)	(△28,500)	(6,500)					
	補助事務費	34,995	21,747	56,742					
	補正に係るもの 計	959,095	△27,803	931,292					
(着工地区の概要：別紙のとおり)									

(注) 起債欄の上段<>書きは交付税措置を除いた額である。

備考欄の県費負担は起債欄の<>書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費
 2項 畜産業費
 1目 畜産総務費

畜産課（電話：7285）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
職員人件費 (畜産総務費)	665,555	20,514	686,069				20,514	
事業内容の説明								
人件費の実績見込みによる増額補正である。								

2目 畜産振興費

畜産課（電話：7829）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考						
				国庫支出金	起債	その他	一般財源							
鳥取県和牛振興計画 推進事業	224,603	△28,155	196,448			(基金繰入金) △28,155								
トータルコスト	238,861	△28,155	210,706	(補正に係る主な業務内容) 補助金交付事務										
従事する職員数	1.8人	0.0人	1.8人											
工程表の政策内容	子牛生産頭数・肉牛出荷頭数の増加と「鳥取和牛」の高価格販売によるブランド力アップ													
事業内容の説明														
<p>1 事業の目的・概要 鳥取県有種雄牛の遺伝資源保護と活用を目的とした鳥取県産和牛の保護及び振興に関する条例に基づいた和牛振興計画に沿った様々な施策を実行し、県産和牛の産業振興を図る。</p> <p>2 主な事業内容 新型コロナウイルス感染症の影響等による消費低下や建築資材高騰等の影響で施設整備や新規参入が控えられ、事業利用者がいなかったことによる減額補正である。</p> <p style="text-align: right;">（単位：千円）</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th style="width: 70%;">細事業名</th> <th style="width: 30%;">補正額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>国事業を活用した施設整備支援事業</td> <td style="text-align: center;">△10,655</td> </tr> <tr> <td>鳥取和牛緊急増頭対策事業（新規参入者部分）</td> <td style="text-align: center;">△17,500</td> </tr> </tbody> </table>									細事業名	補正額	国事業を活用した施設整備支援事業	△10,655	鳥取和牛緊急増頭対策事業（新規参入者部分）	△17,500
細事業名	補正額													
国事業を活用した施設整備支援事業	△10,655													
鳥取和牛緊急増頭対策事業（新規参入者部分）	△17,500													

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費
2項 畜産業費
2目 畜産振興費

畜産課（電話：7829）
（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考														
				国庫支出金	起債	その他	一般財源															
鳥取県和牛振興戦略基金	227,015	170,000	397,015			(財産収入) 170,000																
トータルコスト	227,807	170,792	398,599	(補正に係る主な業務内容)																		
従事する職員数	0.1人	0.1人	0.2人	基金管理業務																		
工程表の政策内容	—																					
事業内容の説明																						
<p>1 事業の目的・概要 和牛の増頭及び改良など将来の和牛振興に向けた事業の経費に充てるため、種雄牛の精液販売収入や貸付料などを鳥取県和牛振興戦略基金（平成27年4月設置）に積み立て、管理を行う。</p> <p>2 主な事業内容 年度当初から「百合白清2」「百合福久」「平白鵬」の凍結精液の販売が好調であったことや、年度中途から「美国白清」と「百合鵬2」の精液を新たに県外販売のラインナップに加えたため、精液販売収入が増加したことから、基金への積立を増額補正する。</p> <p>3 事業目標・取組状況・改善点 (1) 事業目標 県有種雄牛の精液への需要は引き続き高いことから、2.2億円以上の販売収入を確保する。 (2) 取組状況・改善点 基金積立実績</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>積立額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成29年度</td> <td>207,322千円</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>249,929千円</td> </tr> <tr> <td>令和元年度</td> <td>260,929千円</td> </tr> <tr> <td>令和2年度</td> <td>244,093千円</td> </tr> </tbody> </table>									年度	積立額	平成29年度	207,322千円	平成30年度	249,929千円	令和元年度	260,929千円	令和2年度	244,093千円				
年度	積立額																					
平成29年度	207,322千円																					
平成30年度	249,929千円																					
令和元年度	260,929千円																					
令和2年度	244,093千円																					
畜産経営安定対策事業	121,435	△38,920	82,515				△38,920															
トータルコスト	125,396	△38,920	86,476	(補正に係る主な業務内容)																		
従事する職員数	0.5人	0.0人	0.5人	補助金交付事務																		
工程表の政策内容	子牛生産頭数：4,000頭、肉牛出荷頭数：5,000頭、和子牛平均価格全国平均以上、「鳥取和牛オレイン55」出荷頭数：1,000頭（令和5年）																					
事業内容の説明																						
<p>1 事業の目的・概要 肉用牛及び肉豚の枝肉価格、肉用子牛の取引価格が低落し、所得が低下した場合に交付金を交付して生産者の所得を確保しようとするものである。その財源である生産者積立金の一部を県が助成する。</p> <p>2 主な事業内容 令和3年度の負担金単価改定により積立金が減少したことによる減額補正である。 肉用牛肥育経営安定対策事業</p> <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">県補助単価（円）</th> </tr> <tr> <th>改定前</th> <th>改定後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肉専用種</td> <td>18,600</td> <td>1,660</td> </tr> <tr> <td>交雑種</td> <td>6,660</td> <td>4,330</td> </tr> <tr> <td>乳用種</td> <td>6,330</td> <td>3,660</td> </tr> </tbody> </table>										県補助単価（円）		改定前	改定後	肉専用種	18,600	1,660	交雑種	6,660	4,330	乳用種	6,330	3,660
	県補助単価（円）																					
	改定前	改定後																				
肉専用種	18,600	1,660																				
交雑種	6,660	4,330																				
乳用種	6,330	3,660																				

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費
 2項 畜産業費
 2目 畜産振興費

畜産課（電話：7288）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
生乳増産対策支援事業	14,945	△4,245	10,700				△4,245	
トータルコスト	30,787	△4,245	26,542	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	2.0人	0.0人	2.0人	補助金交付事務				
工程表の政策内容	安定した生乳生産量を確保し、鳥取県産牛乳を原料とする製品の国内販売の増や輸出等によりブランド化を進める（生乳生産量：60,000t以上（令和5年））							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 県内生乳生産量6万トン以上を確保することを目的に、県内乳用牛全頭のゲノム育種価検査を進める。</p> <p>2 主な事業内容 新型コロナウイルス感染症の影響等により、乳用牛のゲノム育種価検査が予定どおり進まなかったことによる減額補正である。</p>								
公共育成牧場施設維持管理業務	15,276	0	15,276		<△7,000> △7,000		7,000	県費負担 0
トータルコスト	16,068	0	16,068	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.1人	0.0人	0.1人	—				
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 県営牧場の老朽化した設備の修繕等を行う。工事の適時即応、効率化を考慮し、牧場の管理者である（公財）鳥取県畜産振興協会に委託して実施する。</p> <p>2 主な事業内容 起債充当の取りやめに伴う財源更正である。</p>								

(注) 起債欄の上段< >書きは交付税措置を除いた額である。

備考欄の県費負担は起債欄の< >書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。

令和3年度一般会計補正予算説明資料

1 1 款 災害復旧費

2 項 土木施設災害復旧費

畜産課（電話：7333）

1 目 建設災害復旧費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取放牧場災害復旧事業	4,000	△595	3,405				△595	
トータルコスト	4,792	△595	4,197	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	0.1人	0.0人	0.1人	委託契約事務				
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 令和3年7月豪雨により発生した鳥取放牧場の被害について、復旧工事を行う。</p> <p>2 主な事業内容 当初予定事業の入札残に伴う減額補正である。</p>								

6 款 農林水産業費

2 項 畜産業費

中小家畜試験場（電話 0859-66-4121）

5 目 中小家畜試験場費

（単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
中小家畜試験場管理運営費	35,603	0	35,603		〈△16,000〉 △16,000		16,000	県費負担 0
トータルコスト	57,109	0	57,109	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	4.0人	0.0人	4.0人	—				
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要 中小家畜試験場の管理運営及び施設整備に要する経費である。</p> <p>2 主な事業内容 起債充当の取りやめに伴う財源更正である。</p>								

（注）起債欄の上段〈 〉書きは交付税措置を除いた額である。

備考欄の県費負担は起債欄の〈 〉書きの金額と一般財源の金額を加算したものである。

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 4 項 林業費
 1 目 林業総務費

林政企画課（内線：7301）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
職員人件費	564,245	25,172	589,417			<使用料等> 1,032	24,140	
事業内容の説明				【財源内訳「その他」の内訳】使用料：1,115、手数料：△83				
人件費の実績見込みによる増額補正である。								

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 4 項 林業費
 2 目 林業振興費

林政企画課 (内線: 7301)
 (単位: 千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
鳥取県版緑の雇用支援事業	46,581	△740	45,841				△740	
トータルコスト	52,918	△740	52,178	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.8人	0.0人	0.8人	—				
工程表の政策内容	—							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

新規就労者の確保・定着に向けた情報発信・相談会等の開催や林業経営体が行う新規就労者に対するOJT研修を支援することで、経営体の中核となる林業担い手の確保・育成を図り、森林・林業の安定的な発展につなげる。

2 主な事業内容

研修生及び研修日数が当初見込みよりも減少したことによる減額補正である。

(単位: 千円)

	区 分	補正前	補正	計	補正理由
1	トライアル雇用研修	3,259	-	3,259	
2	未来を担う林業人材育成研修	38,812	△740	38,072	○トライアル雇用 ・7人→4人 ○人材育成研修 ・1年目: 25人→35人 ・2年目: 32人→20人
3	安全向上対策費	500	-	500	
4	新規就労者支援事業 (委託)	4,010	-	4,010	
	合 計	46,581	△740	45,841	

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 4 項 林業費
 2 目 林業振興費

林政企画課（内線：7301）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
林業現場の働き方改革推進事業	900	△862	38			〈基金繰入金〉 △862		
トータルコスト	3,276	△862	2,414	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.3人	0.0人	0.3人	—				
工程表の政策内容	—							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

林業現場は若返りが進んでおり、若手林業従事者の新規参入をさらに促進し定着を図っていくためには、働き手の能力を十分に発揮できる能力開発、人材育成、職場環境の改善等の「働き方改革」が重要である。
 このため、働き方改革の啓発セミナーの開催、働き手がやりがいを感じることのできる職場づくりのための専門家派遣を通じて、林業現場の「働き方改革」を推進する。

2 主な事業内容

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う事業未実施による減額補正である。

（単位：千円）

区 分	補正前	補正	計
働き方改革セミナーの開催	300	△262	38
林業コーディネーター派遣事業	600	△600	0
合 計	900	△862	38

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 4 項 林業費
 2 目 林業振興費

林政企画課（内線：7301）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
スマート林業実践事業	143,734	△79,769	63,965	△73,230		〈基金繰入金〉 △6,539		
トータルコスト	147,695	△79,769	67,926	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.5人	0.0人	0.5人	—				
工程表の政策内容	—							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

森林施業現場のスマート化・低コスト化により素材生産量の増加を図るため、航空レーザ計測で得られた森林情報データを有効に活用できる森林施業プランナーの育成や森林施業のスマート化に取り組むとともに、航空レーザ計測地区を拡大し森林情報のデジタル化を推進する。

2 主な事業内容

国認証額の減及び新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う事業未実施等による減額補正である。

（単位：千円）

区分	細事業名	補正前	補正	計	補正理由
森林施業のスマート化推進	森林施業スマート化支援事業	2,252	△250	2,002	国認証額の減
	先進技術導入検討事業	514	△514	0	コロナによる不執行
スマート林業の担い手育成	スマート林業技術者育成事業	2,976	△2,976	0	コロナによる不執行
森林情報のデジタル化推進	航空レーザ計測事業	129,751	△72,980	56,771	国認証額の減
	施業履歴の電子化推進事業	3,500	△1,520	1,980	入札差金
	森林クラウドシステム推進事業	4,741	△1,529	3,212	入札差金
合 計		143,734	△79,769	63,965	

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

4項 林業費

2目 林業振興費

林政企画課(内線:7299)

(単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
林業成長産業化地域創出モデル事業	117,960	△9,200	108,760	△9,200				
トータルコスト	129,049	△9,200	119,849	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	1.4人	0.0人	1.4人	-				
工程表の政策内容	-							

事業内容の説明

1 事業の目的・概要

国に指定された「林業成長産業化地域」について、国の事業を活用しながら、地域の森林資源を循環利用し林業の成長産業化を推進する。

2 主な事業内容

国認証減による減額補正である。

(単位:千円)

事業区分	補正前	補正	計
森林整備・林業等振興推進(ソフト事業) 「中央中国山地地域」	10,000	△4,600	5,400
森林整備・林業等振興推進(ソフト事業) 「千代川流域地域」	10,000	△4,600	5,400
ソフト事業計	20,000	△9,200	10,800
森林整備・林業等振興整備(ハード事業) 「中央中国山地地域」	33,860	-	33,860
森林整備・林業等振興整備(ハード事業) 「千代川流域地域」	64,100	-	64,100
ハード事業計	97,960	-	97,960
合計	117,960	△9,200	108,760

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6款 農林水産業費

4項 林業費

5目 造林費

林政企画課(内線:7299)

(単位:千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
分収造林促進費	277,972	△7,498	270,474				△7,498	
トータルコスト	285,101	△7,498	277,603	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.9人	0.0人	0.9人	—				
工程表の政策内容	—							
事業内容の説明								
<p>1 事業の目的・概要</p> <p>公益財団法人鳥取県造林公社が分収造林事業を実施するため必要な資金や日本政策金融公庫からの既往借入の償還金を貸し付ける。併せて、同公庫借入利息の支払に必要な資金の助成等を行うとともに、県営林事業特別会計への繰出を行う。</p>								
<p>2 主な事業内容</p> <p>県営林事業特別会計の減額補正に伴う、県営林特別会計への繰出金の減額補正である。</p>								

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 4 項 林業費
 2 目 林業振興費

県産材・林産振興課（内線：7254）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
低コスト林業機械リース等支援事業	114,922	△41,279	73,643	△41,279				
トータルコスト	127,596	△41,279	86,317	（補正に係る主な業務内容）				
従事する職員数	1.6人	0.0人	1.6人	—				
工程表の政策内容	路網整備や高性能林業機械の導入による林業生産の基盤づくり							

事業内容の説明 【「地方創生推進交付金」充当事業】

1 事業の目的、概要

持続的な林業経営を推進するため、伐木搬出作業におけるコスト削減を目的とした低コスト施業体制を整備しようとする林業事業体等の機械化を支援する。

2 主な事業内容

国認証額の減及び事業費の確定による減額補正である。

（単位：千円）

財源	区分	補正前	補正	計
国庫	機械リース等	41,868	△16,752	25,116
県単	機械整備	73,054	△24,527	48,527
	機械リース等			
合計		114,922	△41,279	73,643

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 4 項 林業費
 2 目 林業振興費

県産材・林産振興課（内線：7254）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
路網整備推進事業	503,054	△137,670	365,384	△137,228			△442	
トータルコスト	522,064	△137,670	384,394	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	2.4人	0.0人	2.4人	—				
工程表の政策内容	路網整備や高性能林業機械の導入による林業生産の基盤づくり							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

機械化施業による低コスト林業を推進するため、間伐等の施業を効率的に行うために最も重要な基盤である路網整備を行う林業事業者等を支援する。

2 主な事業内容

国認証額の減及び事業計画の見直し等による事業費の減に伴う減額補正である。

（単位：千円）

区分	事業内容	補正前	補正	計
基幹的路網整備	林業専用道（規格相当）の整備、設計・技術検討会	490,776	△137,090	353,686
森づくり作業道整備	森林作業道の整備	12,278	△580	11,698
合 計		503,054	△137,670	365,384

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 4 項 林業費
 2 目 林業振興費

県産材・林産振興課（内線：7307）
 （単位：千円）

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
非住宅木材活用推進事業	21,863	△2,450	19,413	△100		〈基金繰入金〉 △2,250	△100	
トータルコスト	28,200	△2,450	25,750	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.8人	0.0人	0.8人	—				
工程表の政策内容	—							

事業内容の説明

【「地方創生推進交付金」充当事業】

1 事業の目的、概要

県産材の利用拡大を推進するため、県産材の特性を把握しデザイン性の高い非住宅を設計建築できる技術者の養成を行うとともに、県産材を優先利用した非住宅の木造化等の取組を支援する。

2 主な事業内容

非住宅木材活用プロジェクトチームの運営の執行見込みの減及び令和2年度非住宅建築モデル推進事業（債務負担行為分）の確定による減額補正である。

（単位：千円）

区 分	補正前	補正	計
非住宅木材活用プロジェクトチームの運営	587	△200	387
（令和2年度債務負担行為分） 県産材利用促進に向けた非住宅モデル推進事業	8,600	△2,250	6,350
補正に係るもの 計	9,187	△2,450	6,737

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 4 項 林業費
 2 目 林業振興費

県産材・林産振興課 (内線：7264)
 (単位：千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
「木づかいの国とっとり」県産木製品輸出チャレンジ事業	5,025	△3,025	2,000	△1,512		<基金繰入金> △1,513		
トータルコスト	8,986	△3,025	5,961	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	0.5人	0.0人	0.5人	—				
工程表の政策内容	県産材の需要拡大と競争力強化							

事業内容の説明 【「地方創生推進交付金」充当事業】

1 事業の目的、概要

県産材の販路拡大を図るため、海外でのPR活動を強化するための体制整備と団体が取り組む活動を支援する。

2 主な事業内容

新型コロナウイルス感染症の拡大及びウッドショックによる海外販路開拓調査等委託業務中止に伴う減額補正である。

(単位：千円)

区 分	補正前	補正	計
販路開拓環境整備 (委託事業)	3,025	△3,025	0
輸出促進活動支援 (補助事業)	2,000	-	2,000
合 計	5,025	△3,025	2,000

令和3年度一般会計補正予算説明資料

6 款 農林水産業費
 4 項 林業費
 2 目 林業振興費

県産材・林産振興課 (内線：7264)
 (単位：千円)

事業名	補正前	補正	計	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
きのこ王国 とっとり推進 事業	190,782	△27,892	162,890	△27,892				
トータルコスト	204,531	△27,892	176,639	(補正に係る主な業務内容)				
従事する職員数	1.8人	0.0人	1.8人	—				
工程表の政策内容	県産特用林産物の生産振興							

事業内容の説明

1 事業の目的、概要

鳥取県産原木しいたけ115号のトップブランドの「鳥取茸王」をはじめ、原木しいたけのブランド化の推進等、「きのこ王国とっとり」の実現を図るため、生産体制の整備、販売戦略の実施、原木の安定確保、生産者の育成・確保等を支援する。

2 主な事業内容

国認証額の減による減額補正である。

(単位：千円)

区分	補正前	補正	計
特用林産物生産施設整備支援	180,000	△27,892	152,108